

2021 年 4 月 4 日(14 週目) 復活主日礼拝

『復活の証人』コリント 15:1-8

この世の宗教には命がない。命がある宗教と命のない宗教の違いは、復活があるかどうかである。本日は復活主日礼拝である。全世界で日曜日が休みなのは、イエス様が復活をされた日であるからである。

1.十字架と復活の福音	2.解放の救い	3.復活の証人
▲キリストが、十字架で死なれ復活をされたことが福音である。 1)聖書—創世記 3:15 (1)キリストが、女の子孫として来られ、サタンの頭を踏み砕かれた。 (2)神様であるキリストが、十字架にかかり復活をされた。 (3)ダビデは、キリストが十字架で死に蘇る事を預言した(詩 16:9-10) (4)キリストは死んで三日目に復活することを説明した(マタ 16:21)。 (5)聖書で約束をした通りに復活をされた(I コリ 15:3-4) 2)キリストが弟子たちの前に何度も現れた(I コリ 15:5—6) (1)弟子たちは、復活したキリストを信じた(I コリ 15:7—8)。 (2)復活したキリストに勝る者は誰もいない。 3)弟子たちは、キリストの復活の証人となった(使徒 17:2-3)。 (1)会堂に行って、イエスがキリストであることを伝えた。 (2)イエスが主であると告白し復活を信じる時に救われる(ロ 10:9) (3)キリストは復活をされたので、真の神である。 (4)聖書では、イエス様が十字架につけられて復活をされたことを信じるために書かれている。 (5)私達は、キリストが復活をされたことを信じる時に救われる。	▲キリストであることを信じる者は、どのような救いを受けるようになったか。 1)罪—I コリ 15:3 (1)人間の問題は、原罪、罪である。 (2)人間の力では、原罪の問題を解決することはできない。 —神様にだけ解決をする事が出来る。 (3)キリストが十字架にかけられたのは、私達を罪から解放するため。 2)サタン—I コリ 15:25 (1)キリストがサタンの頭を踏み砕く。 (2)復活は、サタンから解放した証拠。 (3)サタンは死の力を持っている。 —キリストは、サタンを滅ぼされた。 —依存症、精神病から解放される。 3)死からの解放—I コリ 15:21-22 (1)誰もが死の奴隷である。 (2)人々は死を恐れ、不安の中で生きる。 —悪魔は、私達に恐れを与える。 (ヘブ 2:14-15)。 (3)人々は恐れから逃れる為、自殺する。 (4)宗教で恐怖の問題を解決出来ない。 (5)キリストは死の恐怖から解放した(I コリ 15:26)。 4)全ての問題—解決 (1)キリストが十字架にかけられ復活をして、全ての問題を解決された。 (2)キリストを信じる時に、問題は100%解決されていく。 (3)キリストが解決されたことを信じる時に終わる(I コリ 15:2)。 (4)信じられるようにする為、礼拝する。 (5)キリストの復活の喜びは永遠に続く。	▲イエス様が、復活をして生きておられる事を証しする証人となるように。 1)福音を伝える者となれるように(I コリ 15:1)。 (1)復活の証人となるのが私達である。 (2)証人になる者が、主人公である。 (3)福音を権力者に伝えることが出来るように。 —権力者が福音を信じる時に、日本が変わる。 (4)証人となる為に、イエス様が私達の内に生きている(使徒 2:32-33)。 (5)私達は、復活の証人である(使徒 3:15、5:31-32) —会社や学校にも復活の証人となるために遣わされた。 2)新しい家族、レムナントを生かす(ヨハ 21:15-17) (1)新しい家族を養育して、証人となれるようにしていく。 (2)レムナントたちが、キリストの証人となる使命を持って、勉強をすることが出来るように。 3)癒し (1)復活のキリストがともにおられること分かるときから働きが起こるようになる。 (2)キリストの復活の証人となるように(マルコ 16:17-18)

現場地教会(2021 年 4 月 4 日～2021 年 4 月 10 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 『復活の証人』コリント 15:1-8

【讚美】 155 栄あれ死にちかて

【祈り】

①教会の祈りの課題

1. 全聖徒が御座の祝福を味わう霊的見張り人となり、福音と祈りでミッションを掴み、日本と 237 に働く暗闇と霊的戦いができますように。
2. 全聖徒が霊的医者となり、霊的な病で死んでいく日本と 237 を、御言葉と祈りで癒すことができますように。
3. 全聖徒がキリストの霊的サミット大使となり、日本と 237 のサミットを原色福音で生かして育て、キリストの福音を伝えることによって、日本をキリスト教国家にできますように。
※御国イザヤ牧師に聖霊充満と 5 つの力が与えられるように。
②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 祈り題	1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27) 2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17) 3. レムナント(イザヤ 6:13) 4. 癒し(使徒 19:8-20) 5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23) 6. 200 都市(創世記 41:36-38) 7. 1000 大学(使徒 19:9-10) 8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3) 9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3) 10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237) 11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10) 12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)
契約の祈り (主日礼拝)	1. イエス様こそが、十字架で死なれ、葬られ、復活することによって、聖書の約束を成就された真の救い主キリストであることを感謝します。 2. キリストが十字架で死なれ復活することによって、私を罪・サタン・死から永遠に解放し、すべての問題の恐れから完全に救ってくださったことを信じます。 3. 復活のキリストが、私と一つになって共に生きておられることを祈りで味わうことで、周りの人々に福音を証し、レムナントと新しい家族を証人として立てる、復活の証人となりますように。
お知らせ	1. 4 月 5 日 14:00～日本神学校 入学式 2. 5 月 4 日～5 日 10:00～17:00 新しい家族の訓練
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄 5 丁目 23-8／tel:052-238-6003 主日(日曜)1 部礼拝 7:00 / 2 部礼拝 10:00 / 3 部礼拝 12:00	